

平成 27 年度 第 2 回地震・火山噴火予知研究協議会 議事録 (案)

日時 平成 27 年 11 月 30 日(月) 10:00~12:45
 場所 東京大学地震研究所会議室 (1 号館 3 階)

出席者:

(委員)

京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻 (議長)	教授	平原和朗
九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センター長 (副議長)	教授	清水 洋
北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター長	教授	村上 亮
弘前大学大学院理工学研究科附属地震火山観測所長	教授	有賀義明
東北大学大学院学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター長	教授	松澤 暢
東京大学地震研究所長	教授	小原一成
東京大学地震研究所地震予知研究センター長	教授	平田 直
東京大学地震研究所火山噴火予知研究センター長	教授	武尾 実
東京大学地震研究所観測開発基盤センター長	教授	岩崎貴哉
東京大学地震研究所地震火山情報センター長	(代理) 准教授	鶴岡 弘
東京大学地震研究所地震火山噴火予知研究推進センター長	教授	吉田真吾
東京大学大学院理学系研究科附属地殻化学実験施設長	(代理) 准教授	森 俊哉
東京工業大学火山流体研究センター草津白根火山観測所長	教授	小川康雄
名古屋大学大学院環境学研究科附属地震火山研究センター長	(代理) 准教授	山中佳子
京都大学防災研究所附属地震予知研究センター長	教授	飯尾能久
京都大学防災研究所附属火山活動研究センター長	教授	井口正人
京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設火山研究センター長	教授	鍵山恒臣
高知大学理学部附属高知地震観測所長	教授	田部井隆雄
鹿児島大学大学院理工学研究科附属南西島弧地震火山観測所長	教授	後藤和彦
東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻	教授	井出 哲
東京大学大気海洋研究所	(代理) 准教授	朴 進午
秋田大学大学院工学資源学研究科	教授	西谷忠師
鳥取大学大学院工学研究科	(代理) 准教授	塩崎一郎
東海大学海洋研究所地震予知研究センター	教授	長尾年恭
立命館大学総合理工学研究機構	教授	小笠原宏
新潟大学災害・復興研究所	教授	矢田俊文
国立文化財機構奈良文化財研究所	室長	小池伸彦
京都大学防災研究所	教授	川瀬 博
東京大学地震研究所地震・火山噴火予知研究協議会企画部部長	教授	渡辺俊樹
東京大学地震研究所地震・火山噴火予知研究協議会企画部副部長	教授	加藤尚之
北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター (研究戦略室長)	教授	谷岡勇市郎
東北大学大学院理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター (予算委員長)	准教授	矢部康男

東京大学地震研究所	教授	森田裕一
産業技術総合研究所活断層・火山研究部門	総括研究主幹	山元孝広
海洋研究開発機構	上席研究員	末廣 潔
(オブザーバー)		
文部科学省研究開発局地震・防災研究課	課長	谷 広太
文部科学省研究開発局地震・防災研究課	地震火山専門官	浦谷純平
文部科学省研究開発局地震・防災研究課	調査員	松末和之
国土交通省国土地理院地理地殻活動研究センター	地殻変動研究室長	矢来博司
防災科学技術研究所地震・火山防災ユニット	(代理) ユニット長	関口渉次
気象庁地震火山部管理課	地震情報企画官	中村浩二
気象庁地震火山部火山課	火山対策官	小泉岳司
海洋研究開発機構地震津波海域観測研究開発センター	グループリーダー	石原 靖
産業技術総合研究所活断層・火山研究部門	研究グループ長	今西和俊
北海道立総合研究機構環境・地質研究本部地質研究所	研究主幹	岡崎紀俊
山梨県富士山科学研究所	主任研究員	吉本充宏
文部科学省研究開発局学術調査官	名古屋大学大学院准教授	加藤愛太郎
東京大学地震研究所	事務長	見供 隆
東京大学地震研究所	副事務長	小川光明
東京大学地震研究所研究支援チーム共同利用担当	専門職員	富澤 稔
東京大学地震研究所財務チーム	係長	藤原健一

欠席者：

(委員)

東京大学史料編纂所	教授	榎原雅治
環境防災総合政策研究機構環境防災研究所	所長	藤井敏嗣
(オブザーバー)		
海上保安庁海洋情報部技術・国際課	海洋研究室長	西澤あずさ

【報告事項】

1. 文部科学省からの報告

地震・防災研究課谷課長より、測地学分科会地震火山部会における「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」の実施機関の追加、レビュー報告書の作成方針、平成28年度予算概算要求についての報告があった。その中で特に、次世代火山研究・人材育成総合プロジェクトについて意見交換が行われた。

2. 平成27年度年次報告のとりまとめ方法と成果報告シンポジウム

渡辺企画部長より、「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」の平成27年度年次報告の作成について、及び、平成27年度成果報告シンポジウムについて報告があった。今年度のシンポジウムは3月14, 15, 16日に東京大学武田先端知ビル武田ホールにおいて開催される。

3. 平成 28 年度公募研究・特定共同利用(A-01)について

渡辺企画部長より、平成 28 年度「地震・火山噴火の解明と予測に関する公募研究」及び特定共同利用(A-01)について、現在審査中であるとの報告があった。次回の協議会で報告される。

4. 「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」推進体制検討ワーキンググループ報告

清水ワーキンググループ主査より、「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」推進体制検討ワーキンググループの審議状況についての報告があり、それに伴う協議会規則と内規の改定案が示された。また、加藤委員により補足説明がなされた。現在オブザーバーである行政機関や国立研究開発法人等の代表が協議会の委員となること、オブザーバー参加の可能性を残すこと、企画部内に推進室と戦略室を設置し、戦略室には行政機関や国立研究開発法人等の代表が参加することなどが説明され、来年度からの実施に向けて大筋の理解を得た。規則と内規の改定を来年度第 1 回協議会で行う。また、今後の計画推進体制について本ワーキンググループにおいて継続して議論していく。

5. その他

小原地震研究所長より、東京大学地震研究所の平成 28 年度概算要求について説明があった。また、科学研究費新学術領域研究『学術研究支援基盤形成』に申請したとの説明があった。

【審議事項】

1. 平成 27 年度第 1 回地震・火山噴火予知研究協議会議事録（案）の承認

平成 27 年度第 1 回地震・火山噴火予知研究協議会議事録（案）が承認された。

2. 新規機関の参加について

渡辺企画部長より、測地学分科会地震火山部会における実施機関の追加を受けて、協議会としての対応を審議していただきたい旨説明があり、東京大学大気海洋研究所の協議会への参加が承認された。また、北海道立総合研究機構環境・地質研究本部地質研究所、及び、山梨県富士山科学研究所のオブザーバー参加が承認された。さらに、東京大学大気海洋研究所の研究課題に対して、今年度は企画部の予備費から、来年度からは予算委員会における通常の手続きにより予算措置することについても合わせて承認された。新規機関の参加に伴う、協議会規則の改定および協議会委員が承認された。

3. 平成 28 年度地震研究所客員教員の推薦

渡辺企画部長より、平成 28 年度地震研究所客員教員の推薦について候補者の提案があり、承認された。

4. 研究戦略室構成員選考委員会の設置について

渡辺企画部長より、来年度の研究戦略室構成員を選考する選考委員会の設置が提案され、協議会委員選出の 2 名に対する選挙が実施された。清水洋委員、松澤暢委員が選考委員に選出され、議長が後日選出する 2 名と合わせて選考委員会を構成することとなった。

5. 地震データ大規模解析サーバーの利用について

平田委員より、地震データ大規模解析サーバーの設置と利用について説明があり、現行のデータ流通に関する協定に基づき、データ公開を行うことが提案された。これに対し、

海外や我が国におけるデータ公開の流れを踏まえた意見が出された。提案を承認するとともに、データ公開のあり方について今後も引き続き議論を続けることとした。

【その他】

1. 地震・火山噴火研究の連携と協力に関する協定について

富澤地震研専門職員より、新規機関の参加に伴う協定書の締結について説明があった。

2. 学術会議「大型研究計画」について

平田委員より、学術会議「大型研究計画」提案、評価とその対応について説明があった。今後は、関連する他の提案との統合の可能性を含め、企画部・研究戦略室を中心に検討していく。

3. その他

森田委員より、次世代の人材育成について社会や学術の動向を踏まえた話題提供があり、それに基づいて議論が行われた。人材育成は重要であり、次世代火山研究・人材育成総合プロジェクトの状況を見守るとともに、協議会においても議論を続ける。

平原議長より、平成 28 年度の企画部流動教員人事の準備状況について、選考ワーキンググループからの報告に基づき地震研究所に推薦を行ったとの説明があった。

加藤委員より、協議会のパンフレットを作成中であることが報告された。